

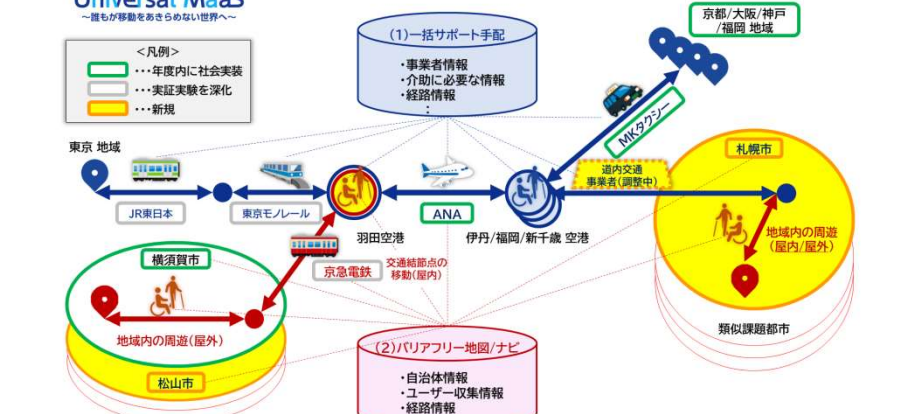


Universal MaaS～誰もが移動をあきらめない世界へ～

移動躊躇層(※)が抱えている課題を、Universal MaaSのコンセプトに従って利用者および自治体、地域、事業者の視点から解決し、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。2021年度の実証実験結果を踏まえ、段階的に社会実装を進める。

※障がいや高齢など、何らかの理由により移動を躊躇している方々。2022年度は対象者・対象地域・参加自治体・企業を拡大

<p>協議会の構成員</p>	<p>【幹事】全日本空輸 (ANA) 【横須賀エリア】横須賀市、京浜急行電鉄、横浜国立大学 【札幌エリア】札幌市、ANAあきんど 【機能/サービス】</p> <p>(1) オンライン一括サポート手配：東日本旅客鉄道、東京モノレール、エムケイ、道内交通（調整中） (2) リアルタイムバリアフリー地図/ナビ： ①屋外 下肢障がい：WheelLog、ゼンリン、ゼンリンデータコム ②屋外 視覚障がい：損保ジャパン、プライムアシスタンス、Ashirase、AWO ③屋内 下肢/視覚障がい：清水建設、SOMPOグループ、AWO その他、右記URLの数十者を予定https://universal-maas.org/partner</p>	<p>取組イメージ</p>										
<p>地域課題</p>	<p>介助やサポートを必要としている利用者への対応が、自治体・地域・事業者ごとに大きく異なっており、また各交通事業者や施設管理者との連携方法が定まっていないため、移動躊躇層における自律的なdoor-to-door移動が不便（全国的な課題ではあるが、まずは特定の利用者・自治体・地域・事業者を対象を絞って課題解決を行ない、徐々に横展開していく）</p>	<p>MaaSを通じて提供するサービスのイメージ</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>(1)公共交通移動における一括サポート手配の実現</p> <p>【現在】各事業者へ個別に都度、連絡・確認 【未来】各事業者に一括手配</p>  </div> <div style="width: 45%;"> <p>(2)徒歩区間における自律的移動の実現</p> <p>【現在】自分に合った移動手段・情報が不足 【未来】移動手段・情報の選択肢が充足</p> <p>※地域内の周遊や交通結節点の移動における課題を解決(以下○印のエリア)</p>  </div> </div>										
<p>事業概要</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">サービス開始時期</td> <td>実証実験を経て、2022年度以降の段階的なサービス開始を目指す。</td> </tr> <tr> <td>地域(拡大)</td> <td>(1) 都心⇔羽田⇔伊丹/福岡/新千歳⇔京阪神/福岡/札幌 (2) 横須賀市/札幌市/松山市 (横須賀市と連携)</td> </tr> <tr> <td>MaaSシステム</td> <td>既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下をAPI連携 (1) 一括サポート手配機能 (2) バリアフリー地図/ナビ機能</td> </tr> <tr> <td>交通サービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通領域だけでなく、地域内の周遊や交通結節点の屋内外の移動を含めたdoor to door地図/ナビの提供 自分に合ったルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者へ依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供 バリアフリー/ユニバーサル関連の移動手段との連携 </td> </tr> <tr> <td>交通以外のサービス</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> バリアフリー/ユニバーサル関連機能とのAPI連携 各種移動支援サービスや機能との連携 (以下参照) https://universal-maas.org/partner </td> </tr> </table>	サービス開始時期	実証実験を経て、2022年度以降の段階的なサービス開始を目指す。	地域(拡大)	(1) 都心⇔羽田⇔伊丹/福岡/新千歳⇔京阪神/福岡/札幌 (2) 横須賀市/札幌市/松山市 (横須賀市と連携)	MaaSシステム	既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下をAPI連携 (1) 一括サポート手配機能 (2) バリアフリー地図/ナビ機能	交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通領域だけでなく、地域内の周遊や交通結節点の屋内外の移動を含めたdoor to door地図/ナビの提供 自分に合ったルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者へ依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供 バリアフリー/ユニバーサル関連の移動手段との連携 	交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー/ユニバーサル関連機能とのAPI連携 各種移動支援サービスや機能との連携 (以下参照) https://universal-maas.org/partner 	<p>Universal MaaS ～誰もが移動をあきらめない世界へ～</p>  <p>凡例： ……年度内に社会実装 ……実証実験を深化 ……新規</p> <p>(1)一括サポート手配 ・事業者情報 ・介助に必要な情報 ・経路情報</p> <p>(2)バリアフリー地図/ナビ ・自治体情報 ・ユーザー収集情報 ・経路情報</p>
サービス開始時期	実証実験を経て、2022年度以降の段階的なサービス開始を目指す。											
地域(拡大)	(1) 都心⇔羽田⇔伊丹/福岡/新千歳⇔京阪神/福岡/札幌 (2) 横須賀市/札幌市/松山市 (横須賀市と連携)											
MaaSシステム	既存経路検索サービスや観光案内サイトに以下をAPI連携 (1) 一括サポート手配機能 (2) バリアフリー地図/ナビ機能											
交通サービス	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通領域だけでなく、地域内の周遊や交通結節点の屋内外の移動を含めたdoor to door地図/ナビの提供 自分に合ったルートを選択・保存し、旅程管理や介助手配状況の確認を可能とする情報・機能の提供 介助を必要とする利用者が支援内容を事業者へ依頼し、事業者が回答するコミュニケーション機能の提供 バリアフリー/ユニバーサル関連の移動手段との連携 											
交通以外のサービス	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリー/ユニバーサル関連機能とのAPI連携 各種移動支援サービスや機能との連携 (以下参照) https://universal-maas.org/partner 											
<p>事業目的</p>	<p>利用者および自治体、地域、事業者の視点から、移動躊躇層における課題解決を行い、行動変容を促すことにより新たな移動需要を喚起する。</p>	<p>評価指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [指標]a:提供サービスに対する利用者満足度 b:提供サービスが外出のきっかけとなった人の割合 c:本事業をきっかけに公共交通を選択した割合 ● [目標]75%以上の利用者が10段階中上位4位以内の回答 ● [測定方法]利用実績ログ、アンケート、ヒアリング等を活用 										
		<p>今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象者や対象自治体/地域/事業者を拡大し、昨年度までに抽出した課題の解決ができた自治体/地域/事業者から、段階的に社会実装を目指す。 ● 一括サポート手配については、将来を見据え、一括予約や決済、マイナンバーカードとの連携を検討し、バリアフリー地図/ナビについては、最終ゴールであるユニバーサルな地図/ナビを目指すべく新規技術を引き続き追求する。 										